

2017年 … 新しい年を公約実現の年に …

# どうなるの? ワンコインバス!



別府市でもワンコインバスの実現を!

長野市長の公約のなかで、市民が一番期待しているのはワンコインバスです。ところがいまだに具体的な姿が見えません。昨年9月議会で日本共産党の竹内よしひろ市議が「いつから実施できるのか」と質問したのに対して、市長も「一日も早く」「協賛中」と言うだけで、内容も時期も明確には答弁しませんでした。多くの市民が来年度(平成29年度)予算での実現を期待しています。

**◆ふれあい交通**  
路線バスのない交通不便地域から路線バス停まで、市内16路線で運行されている。片道200円(小学生以下100円)で、年齢制限はなく、利用券が必要。

**◆ワンコインバス**  
平成16年度から70歳以上を対象に始まり、25年7月からは65歳以上に拡大。約8万人の高齢者が乗車証を持ち、約3百万回利用している。委託料は約3億円。

大分市は地域活性化、健康づくりのため2つの事業を実施。

**前市政のような公約違反はしないで**  
前市政は選挙公約に「国保税の負担軽減」を掲げましたが実行しませんでした。  
長野市長が掲げた「ワンコインバスを導入」という公約は、多くの高齢者が「大分市のようにすべての路線バスが100円で乗れる」と理解しています。  
交通不便地域対策の事業だけでは「ワンコインバス」とは言えません。

**大分市は……二本立て**  
全ての市内路線バスは、65歳以上一律100円  
交通不便地域の「ふれあい交通」は誰も100円

## 日本共産党 別府市議団 げんきニュース

発行責任者 平野 文浩  
別府市石垣西8-2-31

2017.1.25  
No.692

TEL.0977-222-6576  
FAX.0977-223-6529  
あなたの意見をお寄せください。また、お困りのことなどお気軽にご相談下さい。



平野ふみかつ



竹内よしひろ

TEL・FAX 平野ふみかつ 0977-21-6749・竹内よしひろ 0977-24-8061

別府市議会日本共産党議員団 検索

# 今年も、市民の声を国、県、市に届けます!

昨年一年間、日本共産党議員団は、市民の切実な願いを国、県、市に届けてきました。今年もがんばります。

- 2.10 別杵速見広域圏議会
- 2.29 第1回定例議会(～3月23日)
- 3.21 戦争法廃止を求める集会(海門寺公園)
- 4.16 未明に震災発生、直ちに被害調査
- 4.27 真島省三衆議院議員と震災調査  
別府市に震災対策について申し入れ
- 5.14 田村貴昭衆議院議員と震災調査
- 6.6 第2回定例議会(～30日)
- 7.10 参議院選挙投票
- 7.30 自治体学校参加(神戸)
- 8.9 盗撮問題で大分県警に申し入れ
- 8.16 地域包括支援センター調査(～18日)
- 8.23 政府各省庁からのレクチャー(～24日)
- 9.5 第3回定例議会(～21日)
- 10.26 来年度予算に関する県交渉
- 11.10 別杵速見広域圏議会
- 12.7 第4回定例議会(～20日)



えんど久子前市議とともに街頭から訴え(2017年1月4日、別府駅前)



真島衆議院議員と震災被害の調査(4月27日)



↑政府各省庁から説明を受けた(8月24日)



↑全国から寄せられた義援金300万円を届ける(6月3日)



↑安保法制の廃止を求める別府集会(3月21日)



経済産業省から温泉発電の説明を受けた(8月23日)



←国民平和憲法大行進を歩きました大分県被爆者団体協議会長の永島氏とともに(7月13日)

# 中学生までの医療費無料化に全力!

## 竹内よしひろ議員が要求



引き続き、弱い立場の声も届けてまいります!

別府市の子どもの医療費助成制度は、6歳までの未就学児は通院費・入院費、小中学生は入院費を助成・無料化されています。竹内よしひろ議員は、小中学生の通院費までも無料化するよう求めました。今、大分県18市町村では、日田市、佐伯市、臼杵市、由布市、竹田市、豊後大野市、九重町、玖珠町、姫島村の9市町村では、小中学生の通院費に対する子ども医療費助成が拡充されています。別府市でも無料化に向けて、国や県にしっかりと要望するよう、議会で強く要望しました。日本共産党議員団は、子育て支援充実に向けて、頑張ります。

### 9市町村で無料化拡充

### 痰吸引器給付

介護する家族には、夜間の痰吸引は心身への負担の大きな介護です。

実際生活をされているみなさんの声を受けて、日本共産党議員団は、昨年8月に厚生労働省から、夜間も自動で吸痰できる機器も給付できると説明を受けました。

障がいをお持ちのみなさんの声を国へ届け、在宅でも施設や医療場面でも、実情に合った給付となるよう、別府市でも充実させていきましょう。

### 学校エアコン設置実現!

日本共産党議員団が、えんど久子前市議が、繰り返し要望してきた学校エアコン設置。平成28年3月の議会で決まり、中学校は1月から、幼稚園と小学校は9月から、設置される見通しです。

竹内よしひろ議員は、エアコン使用ガイドラインの必要性を訴え、学校保健安全法に基づいた、子どもを取りまく環境(公衆衛生)と、子どもの健康を守るよう、強く要望しました。

### 議会で発言!! 改善されました!!

竹内よしひろ議員は、少数派だからという勝手な理由で、差別や偏見を見逃しません。いのちと暮らしを第一に、正しい努力で、みなさんの声、市政に届けて参ります。

保健・医療・福祉の現場で働いたから。ヘルスケアプロモーションの専門家だから。日本共産党議員だから。

▲お子さん連れのみならず、駐車場標識表示を改善! 市役所駐車場は不便。だけど安心してお子さんと一緒に、市役所にお越し下さい。

▲窓口ご相談のみならず、プライバシーを保護! 仕切りボードで、安心して相談。必要があれば、部長室も相談室に早変わり。

▲投票されるみなさんへ 投票内容を他の人に知られず、投票できることは当たり前。人権も人格も尊重されなければなりません。目や耳がご不自由な方でも、地域の投票場で、安心して投票ができます。

平成28年4月から「障がい者差別解消法」も施行されました。

「別府市障害のある人もない人も安心して暮らせる条例」のもと、しっかりとチェックします。残された課題はありますが、更なる改善に向けて頑張っております!

# 安否確認つき 緊急通報システムで 孤独死のない別府を!



## 来年度から導入! 市民の声が実現しました

皆さんの近くで、誰にも看取られずに死後に発見という孤独死された方はいませんか? 平野市議は平成26年9月議会で「安否確認つきの緊急通報システムを」と求めました。市民の方から「佐伯市の母親が倒れたが、安否確認つきの緊急システムのおかげで死に目にあえた。別府市にも導入を」との要望が寄せられたからです。

その後の議会でも粘り強く要望を続けた結果、昨年12月議会で「来年度から安否確認付きシステムを導入する」と答弁しました。

◆平野市議は2年前の質問で、別府警察署での調査にもとづき、「平成25年度の変死者数は約200人、うち65歳以上は72人。人口が4倍の大分市40~50人に比べて異常に多い」と指摘しました。

◆今回の質問でも、市の調査によると、26年度の変死者は178人、うち65歳以上は63人。27年度は変死者163人、うち65歳以上は55人ということです。あまり状況は改善されていません。

※変死者とは、死後の発見で警察の検死が必要な人のこと。

## 利用者が機種を選べるようになります

現行のシステムは、倒れた本人がボタンを押すとタクシー会社につながり、会社が対処する方式です。

### 《平成27年度の実績は》

コール数839回、うち救急車要請52回、タクシー搬送など13回、相談その他119回、一番多いのは誤報655回。

来年度からは、毎日定時に安否確認ができ、異常があれば登録された近親者に連絡されるなどの機能がついたシステムが導入され、利用者が機種を選べるようになります。

## 残念です! 市営納骨堂の建設は見送り

平成26年6月議会で提起して以来、何度も「来年度の計画にあげる」と答弁してきた市営納骨堂の建設が、今回の議会ではついに見送られました。残念です。平成26年9月議会では「野口原墓地で建設できるように来年度の実施計画にあげたい」と答弁。平成27年9月議会では「一年ずれこみました。来年度の実施計画には盛り込みたい」と答弁。今回の答弁は「平成29年度の建設は厳しい。市営納骨堂は必要なので今後も協議したい」と後退しました。